



「練」は大正末期に兵庫県の舞子より移築された、カフェや

お地蔵さんと坂の町

からほり新聞

第21号
(2011.7.7)

「空堀界隈をご散策される皆様へ」

- ◆路地の奥は私有地が多いのでご注意ください。
- ◆美しい石畳や木造家屋に「ミ」は似合いません。
- ◆商店街は生活の場でもありません。節度とマナーで笑顔が増えます。

からほりと出会ったのはいつだったのだろうか。

最初は「練」だった。その時は、ずいぶん古い建物があるなあという感想だったと思う。

雑貨を取り扱っている複合商業施設である。今もからほりに人々が集まるのは大阪空襲の被害を受けた後だったということもある。

日本家屋のうだつという言葉は、からほりで知った。本来は防火の目的があったそうだが、江戸時代中頃には防火よりも裝飾がメインになっていった。実物を見ると、確かに迫力がある。

ニュータウン育ちで路地を知らずに育った私にとって、から



(山本えみ)

い町でもある。起伏のある地形には様々な坂が存在している。路地に坂、魅力的な二つの要素が相乗効果を起こし、一度では全貌がつかめず。二度三度と訪れたくなる。今まで古いものばかりを挙げて来たが、懐かしさだけが、からほりではない。前回で一度幕を閉じた「からほりまちアーツ」を見れば古い風情を残しつつ、新しい風も受け入れる土壌があるのが分かるだろう。それはからほりが今でも愛されている理由の一つ。と考える。

当会は寄付が主な活動資金です。この度イオングループのKOHYO空堀店様のご支援を頂くことになりました。毎月11日黄色のレシートを備え付けのボックスに入れて頂くと売り上げの1%が高齢者外出介助の会に還元されます。皆様ご協力お願い致します。

- かみなり亭寄席
 - ▶奇数月第2土曜日▶午後6時~▶葉業年金会館
 - ▶出演:笑福亭智之介他▶問い合わせ 06-6768-3549▶参加1500円
- 講談 旭堂南海の南海続く会
 - ▶毎月第4火曜日▶午後7時~▶葉業年金会館
 - ▶木戸銭1500円
- 楓ギャラリー
 - ▶http://www.ef22.com/kaedetop.html

買い物は空堀商店街で

お年寄りの皆さんに、住み慣れた町で楽しく充実した暮らしが続けられることを願って、支援活動や暮らしの潤いに様々な企画を推進しています。

- 懐かしいレコードを聴く会
 - ▶第4月曜日▶午後1時半▶からほりさん
- 童謡・唱歌歌いませんか
 - ▶第1、第3(水曜日)▶午後1時半~3時▶大阪社会福祉指導センター地下1階ボランティアルーム
 - ▶歌詞、資料代500円
- 食事会
 - ▶毎週(第5休み)木曜日開いています。▶参加:実費500円。▶みんなで食べると楽しいですよ!
- マイケアプラン学集會
 - ▶参加しませんか▶第3火曜日▶2時~▶からほりさん
- みんなで集う秋のコンサート27
 - ▶11月19日(土)▶ドーンセンター1階▶開演13時30分~▶栗崎悦子さんに童謡、唱歌を歌っていただきます。

☆編集後記

◆節電の夏ですが...もうすでに暑すぎ。体調を壊さないように無理せず節電対策をしましょう。涼しい!長屋に引越しを考えた。 (山本のお)

◆映画「プリンス トヨトミ」を観てきた。久しぶりに心の底にとどろ残った。商店街などの賑やかさの中で、家庭として先祖代々を考えてほしい。特にこの映画は男性に、そして父親になるであろう男の子に絶対に見て、感じとってほしい。脈々と流れる家の道を! (矢)

特定非営利活動法人

高齢者外出介助の会とは?
お年寄りの皆さんに、より楽しく充実した日常生活を過ごしていただくための様々な活動を行っています。

- ①外出介助(買い物、お墓参り、通院など)
- ②暮らしサポーター(買い物、薬取り、入院時支援など)
- ③車椅子貸し出し(お気軽にご利用下さい)
- ④生きがい作り講座(童謡・唱歌を歌う会、布ぞうりなど)
- ⑤大阪の文学を読む会(学び)
- ⑥「からほり新聞」制作

お気軽にお問い合わせください。
大阪市中央区松屋町4-8 メイツ松屋町1階
(おとうふ屋さんのおとなり)
TEL&FAX 06-6764-4002
月~金(10:30~15:00)
E-mail: odekake@helen.ocn.ne.jp
ホームページ: www.9.ocn.ne.jp/~ode-kake/

喰べ処 呑み処 おそうざいの店

島やん

谷町6丁目12-8 TEL 6762-9288
営業時間:PM5:00~11:00(定休日:月曜日)

現代アートと写真のギャラリーです。

お気軽にお立ちください。

惣 2階 06-6710-4648

英会話教室 11:00~ & 19:00~

spectrum gallery

contemporary art & photo

もくちくカフェのこれから



空堀に移転して8年。住宅を中心とした建築設計をしているが、そのことを地域のの人々に見てもらいたい。知らない。知らない。知らない。

あるきっかけから、少人数制の木と住まいの講座「もくちくカフェ」を開催している。今年で4年目、通算16回、木や住まいに関するお題なら何でも、製材、木工、畳や建具、最近では淡路島の瓦見学など、工房を訪ねる「もくちくお出カフェ」なども開催してきた。また、一昨年は著名デザイナーの南雲勝志さんをゲストにsalondeありす(練2F)でフォーラムを開催。一般の方を対象に、ゆるく楽しく住まいや提案者・作り手の思いを伝えたいというスタンスで続けてきた。2011年7月2日に新たなスタートとして二度目のもくちくフォーラムを開催。テーマは「山と町」。川上から川下を繋ぐ「LLP 吉野やままち」の試みを盛り込んだ講座。講座と

いっても全く堅苦しくなくて、樽材削りの体験や、おひつのごはん、木桶仕込のお酒を味わいながら木のよさ、暮らしの豊かさを再確認してもらおう。ゆるく楽しい車座形式のフォーラムで、まずは「知ってもらおう」という試み。希薄になっていく自然や先人への感謝の気持ちを少し思い出し、「実は今なお暮らしは山から町まで繋がって成り立っている」ということを伝えたい。

今後はもっと、空堀地域に對しても、ここに合うやり方で発信していきたいと思っている。この7月4日から31日まで事務所の展示「森造展」を開催。設計事務所にはどうも入りづらいというイメージを変えてもらうことを企んでいる。地域に根ざした数居の低い設計事務所もあることを知ってもらい、住まいや暮らしの相談を気軽にしてもいい。期間中の週末にはワークショップ形式の講座を3回開催。第18回もくちくカフェは「塗りの仕上げ」左官・塗装・フローリングのメンテナンスなど、プロを招いての体験講座。第19回もくちくカフェは「模型でマイホームプラン」住まいのイメージや間取とライフスタイルの関係など参加者とおしゃべりしながらプランを立体化して



聞くこと、伝えること



高齢者外出介助の会
事務局長 永井佳子

ある日の午後でした。最近活動に加わった会員がさるんに来て「今日はえらい片付いてますね」といわれカチンと頭にきました。「私は忙しいので、片付けばかりはしてられません」と売り言葉が口から出てしまいました。

「きれいに片付けはったんですね?」だったら。「汚いと言われていたようで嫌やわ」と応じていたかもしれませぬ。そしたら話は続いたでしょうね。数日前には活動から遠のいている会員が「久しぶりに元気かなと来たくなかった」と言いつつ入ってこられ、ご家族の近況を話し出されました。ご主人の体調が優れずこれから検査を受



車椅子から眺めれば

街のおじさんから
高齢や障がいで車いす生活になることは誰にでも起こるかも...でも車いすからは世の中がよく見える。そんなおじさんの考えたことを連載で。

この度の東日本大震災は阪神淡路大震災を経験している私たちにも、改めていざという時の備えを急がなくてはと切実に思わせました。高齢者や障害者が避難所で過ごすことがとても大変で、福祉避難所ができて自宅でも過ごす方が良いと帰ったり、行かない人がありました。自宅の方が生活し易いのは当然ですが、一部屋でもよいから耐震補強しておくことが必要です。でも、自宅には救援物資が届かないので、もらいに行ったりしてくれるヘルパーさんなど、支援してくれる人はいるか? ライフラインが止まるかどうか? どう対処する? トイレはどうする? などなど。日頃から考えて準備しておくか? と難しいです。

黒門ごはんばー **なかなか**
中央区日本橋1-22-30
(日本橋駅10番出口より徒歩3分。黒門市場の中)
TEL 06-6636-6886
http://ggyao.usen.com/0003023022/

地域の福祉、みんなで参加
●地域の福祉の充実に、みなさまのご支援をよろしくお願い致します。共同募金は、10月1日~12月31日の期間ですが、年間を通じて寄付金を受付しています。●大阪府共同募金会事務局は、谷町7丁目交差点を信号1つ西入ルの大阪社会福祉指導センターの2階にあります。どうぞよろしく。●ホームページをぜひご覧下さい。http://www.akaihane-osaka.or.jp



映画「プリンス トヨトミ」のロケ地となり、映画の上映とリンクしてテレビ番組で取り上げられることが多くなった空堀界隈。松屋町筋から上町筋まで東西に約800メートル続く空堀商店街の中で、谷町筋から東へ、通称「空堀どろり商店街」の南に伸びる路地を入ったとこ

ろに、「空堀ことば塾」がある。主宰の塙 狼星さんが空堀に縁ができたのは、従来の学習塾ではないこどもの教室を開きたいと、桃園公園に隣接する長屋再生複合ショップ「萌」の一室を借りることになった2006年10月のこと。そして4年後の2010年10月末に、もっと地域に向けた活動をしたと、現在の木造1戸建てに引っ越した。人類学・アフリカ研究を専攻した「京都大学理学博士」の塙さんがシユタイナー教育に関心をもちようになったのは、大学時代に『ミュンヘンの小学生』（子安美知子著）を読んだことから。卒業後に研究者としての

道を歩いていた時に、内戦に明け暮れる90年代のアフリカの現状を目にして、自分は日本で何が出来るのかを考えるようになった。悲惨な状況にあっても喜びを体で表現するアフリカのこども達に接したことで、再び、シユタイナー教育を意識するようになった。具体的な活動として、『自由への教育』として知られるシユタイナー教育を実践しながら、毎年8月には自然学校で仕舞いの舞台発表を行い、3月には学習の成果発表としてこども落語発表会を開催。伝統芸能を取り入れた独自のプログラムで授業をつくりあげている。また、2001年から2010年まで続いた「からほりまちアート」の企画部門で、昔話のお話を開いたり、高津神社の秋祭りや中島敦作「山月記」を語ったり、地域の催しにも積極的に参加している。塙さんがこれから力を入れていきたいことは、今、こどもたちを取り巻く学習障害やいじめなどの教育課題に取り組んでい

大阪市中央区上本町西3-3-19
Tel & Fax
050-1428-0855
ホームページアドレスは以下に。



自然学校の一コマ 塩化ビニルのパイプで尺八づくり

快傑！からほり人

快傑ファイル其の十七

空堀ことば塾 主宰 塙 狼星さん

空堀どろり商店街の路地を入った一角で、ドイツの教育家、ルドルフ・シユタイナーが提唱したアントロポソフィー（人智学）を核に、こどもとおとなが共に学ぶ場を開いている塙 狼星さん。昭和の雰囲気が残る一戸建てを拠点に、地域における出会いと交流を大切に活動が続けている。

街の暖かさが好きと

親の漬け物の味を空堀で。

島谷尚樹さん（今里生まれの32才）が、南高校の向かいに漬け物屋さんを開店して半年。いろんな職業を経て、やはり親の漬け物屋の味「微妙な塩加減」を受け継ごうと始めた。

「つけもんや しまさ」
営業時間10時～20時/日曜定休
松屋町4-18（南高校前）
電話・ファックス
06-4392-7886



注文されてから作る

有機国産の味噌あん最中。

空堀から少し外れますが、珍しい「手作り味噌あん最中」のお店紹介。店主の山本由紀子さんは雑貨の仕事も20年やっていて、ハーブやクッキーも作っていたが会社が倒産し、好きな和菓子をやるうと一念発起。あん作りから修行して有機国産にこだわった、味噌あん最中が売り物の店を始めて1年半。

「一吉（ひとよし）」
営業時間11時～18時半
金曜18時、日祝17時（不定休）
火曜定休 谷町8-2-6
（谷町筋西側、7丁目信号南へ）
電話・ファックス
06-6762-2553



手間をかけて作る2種類のあんは「味噌あんごほう」と「味噌あんいちじく」。あんと皮を別にした手作りセットもあり、クッキーやバナナケーキも作っている。これからの季節に乳豆アイス最中もお薦め。元雑貨屋さんらしくお酒落な店内で食べることもできる。空堀の街が好きなので近くに店舗を捜

くこと。そして、己の内なる世界を発見し、自分自身を磨くことができる読書の大切さを伝えること。そのために1階を、こどもと大人がゆっくり本を読むスペースに改装中。自分自身のこころと語り、他者と語り合うことで、人生を深めていくことを自らのライフワークとしている。（三井康栄）

か ら ほ い 界 隈 お 散 歩 M A P



～其の18 空堀HOPEゾーン修景店舗偏～

空堀界隈でHOPE(ホープ)ゾーン事業が進められ7年になります。これまでにまち並みの修景事業に協力された商店を中心にご紹介いたします。今回は空堀の西側に集中してしまいました。来られたら、東側にも見て楽しい街並みや美味しい飲食店など歩いて見つけてください。修景で改築した方からの話しを紹介します。

空堀の良さは町並みが和風でデザイン的に飽きない。木材や壁土で素材が環境に優しい。景観を維持することで魅力ある町になり、町全体の価値が上がります。活性化に繋がるのではないかと。

修景されたある店主は「近隣の方は見慣れているのでしょね。何とも言われませんが、地域外から来た人が写真を撮ったり楽しんでる様子を見ると修景をして良かったと思う」と。

また、居心地については土壁で夏は涼しく住み心地が良いという方もあり、節電の時期にピッタリの言葉も聞きました。



★丸与 鯉節屋

住所：谷町6-17-17
電話：06-6761-1828



★CARFE 2ndlive

住所：谷町6-14-10
電話：050-7300-5171
MAIL：info@2ndlive.com



★長屋再生複合ショップ惣2階 spectrum gallery

住所：瓦屋町1-6-2
電話：06-6710-4648



★ビストロ ギャロ

住所：瓦屋町1-1-1
電話：06-6762-1016



★住宅(D邸)

商店街沿いにあります



★カフェ&レストラン 菜

住所：谷町6-14-10
電話：06-6762-7333



★きのこや バー

定休日：
木曜日と第三水曜日定休